

**令和5年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業報告書**

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

第1 財団運営の総括

1 会議の開催状況

| 年月日 | 名称 | 提出議案等 |
|-------|------------------|---|
| 5.4.1 | 第1回理事会(書面決議) | ・評議員会の招集について |
| 4.1 | 第1回評議員会(書面決議) | ・監事、理事の選任について |
| 6.2 | 第2回理事会(書面決議) | ・令和4年度事業報告及び決算報告について ・評議員会の招集について |
| 6.28 | 第2回評議員会 | ・令和4年度事業報告及び決算報告について ・任期満了に伴う理事の選任について |
| 6.28 | 第3回理事会(書面決議) | ・副理事長及び、常務理事・会計理事の再任について |
| 10.4 | 第1回評議員・理事・監事合同会議 | ・令和5年度中間事業報告について |
| 12.22 | 第2回評議員・理事・監事合同会議 | ・令和6年度事業概要について ・芸術監督団挨拶 |
| 6.3.8 | 第4回理事会 | ・令和5年度収支補正予算(第1号)について ・令和6年度事業計画及び収支予算について ・役員の選任について ・評議員会の招集について |
| 3.14 | 第3回評議員会 | ・令和5年度収支補正予算(第1号)について ・令和6年度事業計画及び収支予算について ・役員の選任について |

2 所管業務

令和5年度は、引き続き松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設2館、文化芸術施設3館の管理運営を行いました。

施設ごとに運営目標を定め、市民の文化芸術にふれる機会や活動の場の提供により文化芸術活動の推進に努めました。また、自主事業については、各施設の強みを生かした事業を実施するとともに、地元にはゆかりのある出演者による公演や、芸術性の高い作品から娯楽性のある作品の公演等を幅広く行うことで、市民に親しまれる館運営を行いました。

また、松本市文化芸術推進基本計画に基づき、文化や芸術を地域の活性化や観光振興につなげていくという視点を持ちながら施設の運営を進めました。

3 財団の組織強化

(1) 経営の健全化

会計・税務事務を適正に執り行うため、引き続き税理士などの専門家から支援を受けるとともに、新しい法制度に対応すべく研修を実施しました。

コロナによる制限を乗り越え、事業収入の向上や補助金等の活用により、健全な運営を行いました。

(2) 財団改革

「財団改革の基本方針」(平成18年3月策定)並びに松本市の「外郭団体等への市の関与の在り方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図りました。

また、職員への人事評価、定期昇給及び退職金の導入による働き方改革や、各種労働関係法に適切に対応するため社会保険労務士のアドバイスを受けるとともに、適正な人材配置や効率的な業務プロセスの構築など、機動的な組織整備を実現しました。

(3) 連携強化

令和5年度から、文化芸術施設3館の一括での指定管理受託が開始となり、今まで以上に館同士の連携を図りました。

また、施設間のみならず様々な分野で活動している団体や企業、文化施設との連携を深め、文化事業の充実を図る事業を展開するなど、新たな鑑賞者層の拡大に努めました。

4 職員体制

単位:人

| 区分 | | 部長級職名 | 人数 | 課長級職名 | 人数 | 係長級職名 | 人数 | 職名等 | 人数 | 計 |
|----------|----|-------|----|------------------|-----|-------------------------|-------------|----------------------|-------------|----|
| 事務局 | 市 | 局長 | 1 | 次長兼会計課長 | 1 | 次長補佐兼会計係長 | 1 | 一般事務 | | 3 |
| | 財団 | | | | | | | 一般事務 | 2 | 2 |
| | 計 | | 1 | | 1 | | 1 | | 2 | 5 |
| 美術館 | 市 | | | 副館長 | 1 | 副館長補佐 | 2 | 主事 | 1 | 4 |
| | 財団 | | | | | | | 一般事務 売店事務 | 1 1 | 2 |
| | 計 | | | | 1 | | 2 | | 3 | 6 |
| 梓川アカデミア館 | 市 | | | 館長 (美術館副館長兼務) | (1) | 館長補佐 (美術館課長補佐) | (2) | 主事 (美術館主事) | (1) | |
| | 財団 | | | | | | | 一般事務 学芸員 | 1 1 | 2 |
| | 計 | | | | | | | | 2 | 2 |
| 音楽文化ホール | 市 | | | | | | | | | |
| | 財団 | 館長 | 1 | 館長補佐 | 1 | 係長 | 1 | 一般事務 企画制作 | 5 1 | 9 |
| | 計 | | 1 | | 1 | | 1 | | 6 | 9 |
| 市民芸術館 | 市 | | | 支配人 (事務長兼務) | 1 | 係長 | 1 | | | 2 |
| | 財団 | 総監督 | | | | プロデューサー 舞台技術部長 係長 | 1 1 1 | 一般事務 企画制作 舞台技術 | 4 6 6 | 19 |
| | 計 | | | | 1 | | 4 | | 16 | 21 |
| | 市 | | | 館長 (芸術館支配人兼務) | (1) | | | | | |
| 波田文化センター | 財団 | | | | | 係長 (企画制作事務) | 1 | 一般事務 | 1 | 2 |
| | 計 | | | | | | 1 | | 1 | 2 |
| | 市 | | 1 | | 3 | | 4 | | 1 | 9 |
| 合計 | 財団 | | 1 | | 1 | | 5 | | 29 | 36 |
| | 計 | | 2 | | 4 | | 9 | | 30 | 45 |

令和6年3月31日現在

第2 各施設の事業報告

1 松本市美術館

活動の概要

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識して、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。
 - 《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会を充実します。
 - 《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。
 - 《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境をつくります。
 - 《交流の場》 美術館活動を通じて 地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実に努めます。

2 令和5年度の重点的な取組みの成果

- (1) 来館者サービス・施設管理業務
 - お客さまが気持ちよく施設を利用することができるよう、全企画展へのオンラインチケットの導入等、ホスピタリティ(おもてなし)や利便性の向上に努めました。
- (2) ミュージアムショップ運営業務
 - 常設・企画展示室に続く第3の展示室と位置づけ、展覧会、イベント等に連動した企画・販売や所蔵品、所蔵作家や地域をテーマとした企画・販売を行い、1億5千万円以上の売り上げを達成しました。
- (3) 環境整備
 - 施設の適正な維持保全を通じて、来館者の満足に結びつく環境づくりに努めました。
 - また、災害時の避難誘導體制等の強化として、火災の発生を想定した避難訓練を行いました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図り、レポート利用の促進に努めました。(アンケート回答者:691人)
- (2) 美術館の魅力が大勢の方に伝えるべく、下記のとおり広報活動を行いました。
 - ・「わおマップ」への広告出稿
 - ・「長野こまち」へのPR広告出稿及びWEBページでのPR

施設利用状況

1 観覧者数 開館日数 314日

| 区分 | | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|----|----|----------|----------|---------|-------|
| | | | | 増減 | 増減率 |
| 有料 | 個人 | 192,777人 | 135,077人 | 57,700人 | 42.7% |
| | 団体 | 6,171 | 1,844 | 4,327 | 234.7 |
| | 計 | 198,948 | 136,921 | 62,027 | 45.3 |
| 無料 | | 45,361 | 31,153 | 14,208 | 45.6 |
| 合計 | | 217,768※ | 168,074 | 49,694 | 29.6 |

※「映画監督 山崎貴の世界」展はコレクション展と別の観覧券であったことから、両方購入した場合は入場者数が二重計上されていたため、合計人数は実入場者の数とした。

2 施設別利用状況

| 区分 | | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|------------|--------|--------|--------|----------|-------|
| | | | | 増減 | 増減率 |
| 市民ギャラリー | 利用日数 | 246日/% | 252日/% | △6日/ポイント | △2.4% |
| | 利用可能日数 | 314 | 298 | 16 | 5.4 |
| | 利用率 | 78.3 | 84.6 | △6.3 | |
| 講座室・市民アトリエ | 利用日数 | 87 | 106 | △19 | △17.9 |
| | 利用可能日数 | 314 | 298 | 16 | 5.4 |
| | 利用率 | 27.7 | 35.6 | △7.9 | |
| 多目的ホール | 利用日数 | 105 | 91 | 14 | 15.4 |
| | 利用可能日数 | 314 | 298 | 16 | 5.4 |
| | 利用率 | 33.4 | 30.5 | 2.9 | |

3 施設利用者数

| 区分 | 5年度 | | 4年度 | | 前年度対比 | | |
|---------------|-----|---------|-----|---------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 増減率 |
| 市民ギャラリー等 | 48件 | 64,369人 | 54件 | 54,784人 | △6件 | 9,585人 | 17.5% |
| 講座・講演会・コンサート等 | 234 | 9,420 | 229 | 6,013 | 5 | 3,407 | 56.7 |
| 合計 | 282 | 73,789 | 283 | 60,797 | △1 | 12,992 | 21.4 |

4 利用料金収入【参考】

| 区分 | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|-------|------------|------------|----------|------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 施設使用料 | 4,412,440円 | 4,069,770円 | 342,670円 | 8.4% |

2 梓川アカデミア館

活動の概要

1 基本目標

- (1) 松本市梓川アカデミア館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 令和5年度の重点的な取組みの成果

- (1) 松本市美術館と一体管理のため、業務にあたっては美術館と連携しながら管理運営を行いました。
- (2) 施設利用者の満足度向上を目指し、親切・丁寧な対応を心がけました。
- (3) 施設全体を清潔な状態に保ち、利用者に気持ち良くご利用いただくため、館内の美化に努めました。
- (4) 貸室展示の看板のデザインを一新し、来館者に目につきやすいようにしました。
- (5) チラシのデザインを一新し、手に取ってもらえる物になるよう心がけました。
- (6) 音楽コンサートを開催し、地域の方々に演奏を楽しんでいただきました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規利用につなぐきっかけとなるよう働きかけました。
「みんなのアトリエ」は地域の方々の発表の場として、5年度は12件の利用がありました。
- (2) 地域の解説ボランティア7名が民俗資料説明コンシェルジュとして協力し活動することで、交流促進や高齢者の生きがいづくりにつながりました。
- (3) 幅広い年齢層を対象に開催したワークショップでは、伝統文化や、専門的な知識・技術を学び、美術・施設に関心を持っていただく機会づくりとなりました。
- (4) 広報誌「アカデミア館便り」を発行し、主に梓川地区・波田地区に配布。また、プレスリリースによるマスコミへの情報発信や発送先の選別により効果的な周知に努めました。

2 施設別利用状況

| 区 分 | | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|---------------|--------|------------|------------|-------------|----------|
| | | | | 増 減 | 増減率 |
| ギャラリー | 利用日数 | 日/% 201 | 日/% 192 | 日/ポイント 9 | % 4.7 |
| | 利用可能日数 | 309 | 308 | 1 | 0.3 |
| | 利用率 | 65.0 | 62.3 | 2.7 | |
| 第2ギャラリー | 利用日数 | 209 | 215 | △ 6 | △ 2.8 |
| | 利用可能日数 | 309 | 308 | 1 | 0.3 |
| | 利用率 | 67.6 | 69.8 | △2.2 | |
| アクセス ギャラリー | 利用日数 | 145 | 138 | 7 | 5.1 |
| | 利用可能日数 | 309 | 308 | 1 | 0.3 |
| | 利用率 | 46.9 | 44.8 | 2.1 | |
| 屋外施設 | 利用日数 | 3 | 0 | 3 | 皆増 |
| | 利用可能日数 | 309 | 308 | 1 | 0.3 |
| | 利用率 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | |

3 施設利用者数

| 区 分 | 5年度 | | 4年度 | | 前年度対比 | | |
|---------------|---------|-------------|---------|-------------|--------|------------|------------|
| | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 増減率 |
| ギャラリー・第2ギャラリー | 件 44 | 人 11,038 | 件 38 | 人 11,337 | 件 6 | 人 △ 299 | % △ 2.6 |
| アクセスギャラリー | 12 | 13,473 | 10 | 6,901 | 2 | 6,572 | 95.2 |
| 屋外施設 | 1 | 1,526 | 0 | 0 | 1 | 1,526 | 皆増 |
| 主催事業等 | 6 | 212 | 0 | 0 | 6 | 212 | 皆増 |
| 合 計 | 63 | 26,249 | 48 | 18,238 | 9 | 8,011 | 43.9 |

※主催事業等(ワークショップ及びコンサート)は、前年度まで観覧者数に含まれていたが、本年度は別集計とした。

4 利用料金収入【参考】

| 区 分 | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|-------|--------------|--------------|-------------|-----------|
| | | | 増 減 | 増減率 |
| 施設使用料 | 円 767,400 | 円 693,890 | 円 73,510 | % 10.6 |

3 松本市音楽文化ホール

活動の概要

1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ、管理・運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて市民の音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や積極的な育成援助を行います。

2 令和5年度の重点的な取組みの成果

- (1) 優れた音響を誇る音楽専門ホールにふさわしく、国内外の最高のクオリティの演奏家を招き、市民の音楽経験を豊かなものとするべく事業を企画しました。
また、若者世代の技術向上を狙う講習会や、家族で来やすいコンサートを企画することで幅広い世代が多様な音楽に触れられる機会を提供できるよう努めました。
- (2) サイトウ・キネン・オーケストラ、新人演奏会等、松本市および音楽文化ホールが培ってきた音楽的財産を生かし、さらなる発展を図る企画に力を入れました。
- (3) オルガン、チェンバロなど所蔵の楽器を市民に広く親しんでいただくための演奏会・講習会を開催しました。また、ポジティブオルガンを活用したアウトリーチを実施しました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 公式ホームページをリニューアルし、わかりやすく探しやすいページを意識したレイアウトで利便性の向上を狙いました。また、「利用料金シミュレーター」を設置したことにより予約前に利用料金の試算が行え、利用者・職員双方の負担軽減を図りました。
- (2) 公演ごとにU-25や学生割引チケットの価格を柔軟に設定し、より幅広い層がコンサートへ足を運べるよう努めました。
- (3) facebook、X(旧Twitter)などのSNSを活用しつつ、新聞等の広告掲載を拡充しました。
公式ホームページをのリニューアルに伴い、主催公演だけでなく、利用者の主催する催事についても広く告知をし、利用者数の向上を狙いました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

| 区分 | | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|--------|--------|------|------|-------|-------|
| | | | | 増減 | 増減率 |
| メインホール | 利用日数 | 258 | 270 | △ 12 | △ 4.4 |
| | 利用可能日数 | 278 | 292 | △ 14 | △ 4.8 |
| | 利用率 | 92.8 | 92.5 | 0.3 | |
| 小ホール | 利用日数 | 286 | 280 | 6 | 2.1 |
| | 利用可能日数 | 298 | 295 | 3 | 1.0 |
| | 利用率 | 96.0 | 94.9 | 1.1 | |
| 練習室 | 利用日数 | 283 | 248 | 35 | 14.1 |
| | 利用可能日数 | 299 | 298 | 1 | 0.3 |
| | 利用率 | 94.6 | 83.2 | 11.4 | |

2 来館者数

| 区分 | 5年度 | | 4年度 | | 前年度対比 | | |
|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|------|
| | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 増減率 |
| メインホール | 680 | 44,299 | 676 | 33,547 | 4 | 10,752 | 32.1 |
| 小ホール | 750 | 14,196 | 707 | 12,689 | 43 | 1,507 | 11.9 |
| 練習室 | 1,718 | 9,475 | 1,463 | 7,232 | 255 | 2,243 | 31.0 |
| 合計 | 3,148 | 67,970 | 2,846 | 53,468 | 302 | 14,502 | 27.1 |

3 利用料金収入

| | | |
|----|--------|--------------|
| 目標 | 利用料金収入 | 16,360,000 円 |
|----|--------|--------------|

| 区分 | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|--------|-------------|-------------|-----------|-------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| ホール利用料 | 6,237,755 円 | 5,933,435 円 | 304,320 円 | 5.1 % |
| 練習室利用料 | 2,124,495 | 1,708,515 | 415,980 | 24.3 |
| 設備利用料 | 10,616,310 | 8,910,500 | 1,705,810 | 19.1 |
| 合計 | 18,978,560 | 16,552,450 | 2,426,110 | 14.7 |

4 まつもと市民芸術館

活動の概要

1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

2 令和5年度の重点的な取組みの成果

- (1) 芸術監督(総監督)が不在な期間中も、従来のクリエイション、発信力等のクオリティを維持するよう努めました。
- (2) 芸術館内の空間やオープンスペースの新しい使い方を模索し、シアターパーク企画の公募を行い、公演を実施しました。
- (3) 市民が芸術に触れ、また積極的に参加できる作品を提供しました。特に次世代を担う子ども向けの企画を多く実施しました。
- (4) 芸術性の高い作品から娯楽性のある作品まで、幅広いジャンルの公演を提供しました。
また、教育普及、人材養成のためのレクチャーやワークショップの他、広報誌をリニューアルしました。
- (5) 各種の補助金、助成金の取り込みに務める他、東京吉祥寺シアターと初めて連携を行いました。

3 利用促進対策の成果

- (1) シアターパーク奥の旧レストランエリアをオープンスペースとし、日常的に気軽に市民が利用できる場として開放しています。ホール公演のある時のみならず利用する様子が多く見られるようになりました。
今後とも利用者の声も聞きつつ、開かれた場所になるよう工夫していきます。
- (2) 中学・高校の職場体験などの希望を積極的に受入れています。
2日間にわたり設備、舞台、制作など多方面から劇場での仕事を見て、経験してもらうことが出来ました。後日の感想では、職場体験を通してより一層芸術への関心が深まったことが記されており、引き続きこのような機会を増やしていきます。

施設利用状況

1 施設別利用状況

| 区分 | | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | | |
|----------|--------|---------|-----------|-----------|----------------|-------------|
| | | | | 増減 | 増減率 | |
| 主ホール | 利用日数 | 自主事業 | 日/% 62 | 日/% 78 | 日/ポイント △ 16 | % △ 20.5 |
| | | 貸館(市主催) | 30 | 30 | 0 | 0.0 |
| | | 貸館(一般) | 131 | 113 | 18 | 15.9 |
| | 利用日数 | | 223 | 218 | 5 | 2.3 |
| | 利用可能日数 | | 283 | 271 | 12 | 4.4 |
| | 利用率 | | 78.8 | 80.4 | △1.6 | |
| 小ホール | 利用日数 | 自主事業 | 23 | 69 | △ 46 | △ 66.7 |
| | | 貸館(市主催) | 16 | 10 | 6 | 60.0 |
| | | 貸館(一般) | 179 | 134 | 45 | 33.6 |
| | 利用日数 | | 218 | 213 | 5 | 2.3 |
| | 利用可能日数 | | 287 | 281 | 6 | 2.1 |
| | 利用率 | | 76.0 | 75.8 | 0.2 | |
| オープンスタジオ | 利用日数 | 自主事業 | 98 | 96 | 2 | 2.1 |
| | | 貸館(市主催) | 20 | 38 | △ 18 | △ 47.4 |
| | | 貸館(一般) | 87 | 67 | 20 | 29.9 |
| | 利用日数 | | 205 | 203 | 2 | 1.0 |
| | 利用可能日数 | | 316 | 290 | 26 | 9.0 |
| | 利用率 | | 64.9 | 70.0 | △5.1 | |
| スタジオ2 | 利用日数 | 自主事業 | 118 | 108 | 10 | 9.3 |
| | | 貸館(市主催) | 0 | 0 | 0 | — |
| | | 貸館(一般) | 74 | 44 | 30 | 68.2 |
| | 利用日数 | | 192 | 160 | 32 | 20.0 |
| | 利用可能日数 | | 315 | 290 | 25 | 8.6 |
| | 利用率 | | 61.0 | 55.2 | 5.8 | |
| スタジオ3 | 利用日数 | 自主事業 | 67 | 66 | 1 | 1.5 |
| | | 貸館(市主催) | 2 | 29 | △ 27 | △ 93.1 |
| | | 貸館(一般) | 96 | 62 | 34 | 54.8 |
| | 利用日数 | | 165 | 156 | 9 | 5.8 |
| | 利用可能日数 | | 320 | 291 | 29 | 10.0 |
| | 利用率 | | 51.6 | 53.6 | △2.0 | |
| スタジオ4 | 利用日数 | 自主事業 | 59 | 60 | △ 1 | △ 1.7 |
| | | 貸館(市主催) | 0 | 29 | △ 29 | 皆減 |
| | | 貸館(一般) | 68 | 36 | 32 | 88.9 |
| | 利用日数 | | 127 | 121 | 6 | 5.0 |
| | 利用可能日数 | | 321 | 288 | 33 | 11.5 |
| | 利用率 | | 39.6 | 42.0 | △2.4 | |
| M2会議室 | 利用日数 | 自主事業 | 50 | 44 | 6 | 13.6 |
| | | 貸館(市主催) | 5 | 31 | △ 26 | △ 83.9 |
| | | 貸館(一般) | 106 | 60 | 46 | 76.7 |
| | 利用日数 | | 161 | 149 | 12 | 8.1 |
| | 利用可能日数 | | 324 | 308 | 16 | 5.2 |
| | 利用率 | | 49.7 | 48.4 | 1.3 | |

2 来館者数

| 区 分 | | | 5年度 | | 4年度 | | 前年度対比 | | |
|----------|-----|----------------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|
| | | | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 増減率 |
| 主ホール | 音楽系 | クラシック | 6 | 29,913 | 6 | 29,515 | 0 | 398 | 1.3 |
| | | ポピュラー | 17 | | 19 | | △ 2 | | |
| | | 邦楽 | 2 | | 3 | | △ 1 | | |
| | | その他 | 0 | | 1 | | △ 1 | | |
| | | オペラ | 5 | | 5 | | 0 | | |
| | 芸能系 | ミュージカル | 1 | 22,144 | 8 | 29,556 | △ 7 | △ 7,412 | △ 25.1 |
| | | 演劇 | 21 | | 33 | | △ 12 | | |
| | | 古典芸能 | 4 | | 3 | | 1 | | |
| | 舞踊系 | バレエ・日舞・ダンス | 10 | 4,344 | 7 | 2,652 | 3 | 1,692 | 63.8 |
| | その他 | 大会・集会・収録・リハーサル | 59 | 46,114 | 48 | 19,183 | 11 | 26,931 | 140.4 |
| 計 | | 125 | 102,515 | 133 | 80,906 | △ 8 | 21,609 | 26.7 | |
| 小ホール | 音楽系 | クラシック | 18 | 5,454 | 15 | 3,974 | 3 | 1,480 | 37.2 |
| | | ポピュラー | 11 | | 11 | | 0 | | |
| | | 邦楽 | 3 | | 4 | | △ 1 | | |
| | | その他 | 4 | | 4 | | 0 | | |
| | 芸能系 | 演劇 | 15 | 3,151 | 25 | 3,666 | △ 10 | △ 515 | △ 14.0 |
| | | 古典芸能 | 6 | | 3 | | 3 | | |
| | 舞踊系 | バレエ・日舞・ダンス | 3 | 361 | 6 | 598 | △ 3 | △ 237 | △ 39.6 |
| | その他 | 大会・集会・収録・リハーサル | 98 | 11,283 | 124 | 6,626 | △ 26 | 4,657 | 70.3 |
| 計 | | 158 | 20,249 | 192 | 14,864 | △ 34 | 5,385 | 36.2 | |
| スタジオ・会議室 | | - | 15,356 | - | 9,122 | - | 6,234 | 68.3 | |
| 見学他 | | - | 63,225 | - | 54,878 | - | 8,347 | 15.2 | |
| 合 計 | | 283 | 201,345 | 325 | 159,770 | △ 42 | 41,575 | 26.0 | |

3 利用料金収入

| | | |
|-----|--------|--------------|
| 目 標 | 利用料金収入 | 30,000,000 円 |
|-----|--------|--------------|

| 区 分 | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|------|-----------------|-----------------|----------------|-----------|
| | | | 増 減 | 増減率 |
| 利用料金 | 円 40,755,330 | 円 31,369,520 | 円 9,385,810 | % 29.9 |

5 松本市波田文化センター

活動の概要

1 基本目標

(1) 小ホールながら多目的な利用ができる特徴を活かした幅広い利用を図ります。

自主事業では、西部地域の学校や団体との関わりを大切に、鑑賞の場だけではなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行っていきます。

(2) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動援助する一方で 広く利用いただけるように努めます。

2 令和5年度の重点的な取組みの成果

(1) 自主事業

一つの企画を複数回開催することで市民参加の機会とリピーターを増やし、事業の認知度を高めて地域に定着した恒例イベントとなるよう努めました。

市民参加型の合唱企画「うたの楽しみ」は、6回実施し、参加者から次回を期待する声をいただくことができました。

「はた映画上映会」は、3回実施して好評を得ており邦画と洋画両方の作品を楽しんでいただけました。

(2) 地域や他団体との共同

共催事業の「夏休みの映画館」では、アニメを含めた作品を上映して、子ども達に身近に映画を楽しんでもらうことができました。

(3) 継続している事業

ピアノを一般市民に開放するイベントは、参加者のアンケートに機会拡充の要望があり、開催日を増やして参加募集したところ今年度は前年度の約2倍の参加がありました。今後も参加者の声を聞き、より楽しんでいただけるように柔軟に対応していきます。

3 利用促進対策の成果

(1) 貸館利用予約の変更やキャンセル等に柔軟に対応し利用しやすくなるよう対応しました。利用後には利用報告書を提出いただき、感想や要望などの改善に取り組みました。

(2) 自主事業来場者、貸館利用者にアンケートのご協力をいただき、意見や要望を取り入れてサービス向上に努めました。

(3) イベント情報ははじめ利用案内等を広く情報発信できるようにホームページをリニューアルしました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

| 区分 | | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|------------|--------|-----------|-----------|-------------|----------|
| | | | | 増減 | 増減率 |
| アクトホール | 利用日数 | 日/% 92 | 日/% 85 | 日/ポイント 7 | % 8.2 |
| | 利用可能日数 | 286 | 284 | 2 | 0.7 |
| | 利用率 | 32.2 | 29.9 | 2.3 | |
| 練習室 | 利用日数 | 152 | 154 | △ 2 | △ 1.3 |
| | 利用可能日数 | 286 | 284 | 2 | 0.7 |
| | 利用率 | 53.1 | 54.2 | △ 1.1 | |
| 第1会議室 | 利用日数 | 31 | 35 | △ 4 | △ 11.4 |
| | 利用可能日数 | 286 | 284 | 2 | 0.7 |
| | 利用率 | 10.8 | 12.3 | △ 1.5 | |
| 第2会議室 | 利用日数 | 45 | 36 | 9 | 25.0 |
| | 利用可能日数 | 286 | 284 | 2 | 0.7 |
| | 利用率 | 15.7 | 12.7 | 3.0 | |
| 第3会議室 | 利用日数 | 157 | 161 | △ 4 | △ 2.5 |
| | 利用可能日数 | 286 | 284 | 2 | 0.7 |
| | 利用率 | 54.9 | 56.7 | △ 1.8 | |
| ハイビジョンシアター | 利用日数 | 13 | 6 | 7 | 116.7 |
| | 利用可能日数 | 286 | 284 | 2 | 0.7 |
| | 利用率 | 4.5 | 2.1 | 2.4 | |
| 展望室 | 利用日数 | 14 | 20 | △ 6 | △ 30.0 |
| | 利用可能日数 | 286 | 284 | 2 | 0.7 |
| | 利用率 | 4.9 | 7.0 | △ 2.1 | |
| ギャラリー | 利用日数 | 189 | 235 | △ 46 | △ 19.6 |
| | 利用可能日数 | 286 | 284 | 2 | 0.7 |
| | 利用率 | 66.1 | 82.7 | △ 16.6 | |

2 来館者数

| 区分 | 5年度 | | 4年度 | | 前年度対比 | | |
|------------|-----|--------|-----|--------|-------|-------|--------|
| | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 増減率 |
| アクトホール | 104 | 7,909 | 93 | 6,807 | 11 | 1,102 | 16.2 |
| 練習室 | 194 | 1,862 | 178 | 1,298 | 16 | 564 | 43.5 |
| 第1会議室 | 31 | 369 | 35 | 324 | △ 4 | 45 | 13.9 |
| 第2会議室 | 44 | 316 | 36 | 213 | 8 | 103 | 48.4 |
| 第3会議室 | 161 | 1,261 | 162 | 1,375 | △ 1 | △ 114 | △ 8.3 |
| ハイビジョンシアター | 13 | 91 | 6 | 64 | 7 | 27 | 42.2 |
| 展望室 | 14 | 33 | 20 | 33 | △ 6 | 0 | 0.0 |
| ギャラリーほか | 4 | 1,240 | 1 | 1,430 | 3 | △ 190 | △ 13.3 |
| 合計 | 565 | 13,081 | 531 | 11,544 | 34 | 1,537 | 13.3 |

3 利用料金収入

| | | |
|----|--------|-------------|
| 目標 | 利用料金収入 | 2,420,000 円 |
|----|--------|-------------|

| 区分 | 5年度 | 4年度 | 前年度対比 | |
|-------|--------------|--------------|---------------|------------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 施設利用料 | 円 813,980 | 円 879,977 | 円 △ 65,997 | % △ 7.5 |
| 設備利用料 | 1,951,700 | 1,706,450 | 245,250 | 14.4 |
| 合計 | 2,765,680 | 2,586,427 | 179,253 | 6.9 |